

子ども達の人生は2012年で終わらない

2012以降の対策は？方針は？

- 2012以降免疫保有率を95%以上に保つには、どのような方策があるのか？将来どうしていくのか見えてこない。→不安
 - 麻疹を輸入しないよう対策をするのか？→不安
- ▼ 不安を解消するには
- 長期的視野のアクションプランの提示が必要である。



アドホックな対応は現場の混乱、ユーザーの不信を招きます

そもそも、 予防接種をさらに推進することだけが必要なのか？

- ウィルスとの共存という観点等、もっと広い視点での検証は必要ないか？
(検討会委員の専門性のバリエーション
→ウィルス学(適応説等)、東洋医学、経済学等の多角的な検証)
- 予防接種が長期的に人体に及ぼす影響の研究、対策はどうデザインされていくのか？
(妊婦麻疹(流産の危険性の増大)、母子移行免疫低下による新生児罹患増加、高齢者麻疹、修飾麻疹等)
- 不安を煽るのではなく、適切なリスクコミュニケーションが必要なのではないか？
(ゼロリスク症候群を煽ってしまっているのではないか？)

